



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004



『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社J-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

11月生乳生産前年比3.4%増 農水省

農林水産省は、2021年11月の全国の生乳生産量は、61万4,100トン(前年同月比3.4%増)となったことを発表した。地域別には、北海道が34万6,980トン(同4.4%増)、都府県は26万7,120トン(同2.2%増)といずれも堅調に推移した。

用途別処理量は、牛乳等向けが32万4,951トン(前年同月比1.6%減)、乳製品向けが28万4,999トン(同9.8%増)となった。内訳として、脱脂粉乳・バター等向け13万7,009トン(同13.7%増)、チーズ向け3万4,448トン(同4.6%増)、クリーム等向け11万1,212トン(同6.4%増)となっている。

令和4年度畜産物価格据置 農水省

農林水産省は、「食料・農業・農村政策審議会」において、令和4年度の畜産物価格などの算定について諮問・答申を行った。それによると加工原料乳生産者補給金単価は1キログラム当たり8.26円、集送乳調整金単価は同2.59円と、いずれも前年度から据え置きとなった。また、総交付対象数量についても345万トンに据え置かれた。

11月乳製品輸出年同月比減 NZ

ニュージーランド統計局は、2021年11月の乳製品輸出量は、主要4品目いずれも前年同月を下回ったと発表した。

品目別には、脱脂粉乳は最大の輸出先である中国向けが前年同月をかなりの程度上回ったものの、東南アジア向けなどが落ち込んだことで、全体では

39,004トン(前年同月比13.7%減)と大きな減少となった。全粉乳も、最大の輸出先である中国向けはかなりの程度上回ったものの、東南アジアやアフリカ向けなどが減少し、214,595トン(同1.9%減)とわずかに減少した。バターおよびバターオイルは、エジプトやUAE向けが好調だったものの、中国向けが大幅に下回ったことで、35,570トン(同17.1%減)と大幅な減少となった。チーズは、日本向けがやや上回ったものの、豪州、中国、韓国向けなどが落ち込み、32,357トン(前年同月6.1%)とかなりの程度減少した。

EU乳価急騰 8年ぶり40ユーロ台

欧州委員会は、EU27カ国の100キロ当たり生産者乳価が約8年ぶりに40ユーロ(1キロ当たり52円48銭)を突破したことを発表した。域内の生乳生産が低迷する一方で、国際乳製品相場が高騰しているためとしている。

欧州委員会によると、EUの平均乳価は2021年3月ごろから上昇し、11月には前年比13%高の40.02ユーロ(52円51銭)となり、7年10ヵ月ぶりに40ユーロを越えたと発表した。12月は40.70ユーロ(53円40銭)とさらに値上がりした。

国際乳製品需要が堅調に推移する中、域内の生乳生産が想定ほど伸びておらず、エサ代や光熱費など酪農家の生産コストが上昇した一方で、再生産に必要な収益を確保することが難しく、酪農家の生産意欲が後退し、乳製品相場の高騰を招いたとみられている。

飼料のご用命は

武陽食品株式会社

飼料部宮城営業所 飼料部福島営業所

東北第一営業所山形出張所 担当

11月牛肉生産前年同月比1.3%増 農水省

農林水産省は、2021年11月の牛肉生産量は、3万4,186トン(前年同月比1.3%増)と前年同月をわずかに上回ったと発表した。

品種別には、和牛が1万7,654トン(前年同月比0.5%減)と前年同月をわずかに下回った一方で、交雑種は8,299トン(同5.0%増)とやや、乳用種は7,764トン(同1.7%増)とわずかに、いずれも前年同月を上回った。

過去5カ年の11月の平均生産量との比較では、2.3%増とわずかに上回る結果となった。

11月牛肉輸入年同月比13.7%減 農水省

農林水産省は、2021年11月の牛肉輸入量は、米国産および豪州産の輸入量が現地価格の高止まりなどにより減少したことから、4万2,651トン(同13.7%減)と前年同月をかなり大きく下回ったと発表した。

このうち冷蔵品は、1万6,432トン(前年同月比23.9%減)と大幅に減少した。冷凍品は、2万6,194トン(同5.7%減)とやや前年同月を下回った。

過去5カ年の11月の平均輸入量との比較では、

冷蔵品は25.9%減と大幅に下回った一方、冷凍品は6.9%増とかなりの程度上回る結果となった。

米国牛肉卸売価格高水準で推移 USDA

米国農務省農業マーケティング局は、2021年11月の牛肉卸売価格は100ポンド当たり283.5米ドル(1キログラム当たり725円:1米ドル=116円)で、前年同月比24.3%高となったと発表した。米国内の底堅い需要に加え、中国や日本、韓国向けの好調な輸出が価格を押し上げているとしている。部位別には、特にかたばら、ともばらなどがアジアからの好調な需要を受けて、高値となっている。

このような状況下で米国大統領行政府は、直近の牛肉を含む食肉価格の高騰について、大手食肉会社が市場の優位性を利用して価格を引き上げた一方で、生産者には十分な見返りを与えず、自らの利益を拡大していると指摘して、大手食肉パッカーを批判している。これに対して、食肉団体などは強く反発しており、今後の展開が注目されている。

J-オイルミルズ ファイバーフィード 乳用牛・肉用牛飼育用配合飼料

ファイバーフィードは、大豆皮を主原料とし、ペレット化した混合飼料です。大豆皮はNDF含量が高いにもかかわらず、リグニン含量が低いので消化性が高く、高エネルギーです。高繊維、高エネルギーの原料である大豆皮をふんだんに使用した、ファイバーフィードはJ-オイルミルズにしかない、独自の飼料です。

夏場の飼料給与には、粗飼料の不足を補い、第一胃内の発酵の安定させる、ファイバーフィードをお勧めします。



成分	原物中	乾物中
粗たん白質	14.0%前後	16.0%前後
粗脂肪	3.0%前後	3.4%前後
粗繊維	23.0%前後	26.4%前後
粗灰分	7.0%前後	8.0%前後
カルシウム	0.40%前後	0.40%前後
りん	0.15%前後	0.17%前後
T D N	65.0%前後	74.7%前後